

事務事業名	コード	39500 成人式開催事業	予算科目	会計 一般	款 10	項 4	目 1	事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 主な事業 <input type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画 <input type="checkbox"/> 新市建設計画 <input type="checkbox"/> 定住自立圏構想 <input type="checkbox"/> 主要事業
所管課	生涯学習課	担当班	社会教育班						
基本施策	14	青少年の健全育成	根拠法令	特になし					
施策の展開	28	青少年の健全育成の推進	戦略事業	135 成人式開催事業					
施策の展開			戦略事業						

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない	
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 平成 年度～ <input checked="" type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	新成人に大人として自覚を促し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ますことを目的とした事業。 開催日は、1月の成人の日の前日の日曜日。時間は午前10時から正午まで。開催場所は、東総文化会館大ホール。参加者は、市内新成人及び学生等で転出されている新成人。 【式典の流れ】1. 開式の辞(新成人)、2.国歌斉唱(ピアノ伴奏:新成人)、3.式辞(旭市長)、4.来賓式辞(県議、市議会議長)、5.記念品贈呈(市長から新成人へ)、6.新成人の意見発表(新成人5名)、7.思い出のスライド上映(担当課制作)、8.閉式の辞(新成人)	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
新成人に「大人として自覚を促し、自ら生き抜こうとする青年を励ます」ことを目的として開始した。	少子化の影響から新成人も減少続けている。	旭市中学校合同文化祭と5年後の成人式を繋ぐ取り組みにより新成人の多くが成人式の式典の開催を期待している。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(29年度の決算) 単位:千円		26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)
1.報償費	673:参加者記念品、意見発表者等謝礼	845	904	684	673	957
2.需用費	43:演台用生花、案内ハガキ印刷代等	62	53	64	43	60
3.役務費	42:案内ハガキ代	39	43	36	42	51
4.委託料	19:手話通訳委託料	22	20	19	19	21
5.使用料及び賃借料	206:東総文化会館使用料(大ホール)	201	192	207	206	207
② 特定財源の内訳(29年度の決算) 単位:千円		事業費計(A)				
1.国庫支出金	0	千円	1,169	1,212	1,010	983
2.都道府県支出金	0	千円				
3.地方債	0	千円				
4.その他	0	千円				
		千円	1,169	1,212	1,010	983

前年度増減理由	記念品購入数の減、5年後の新成人数の減、郵便単価の増
---------	----------------------------

従事職員数 常時 2人 最大 47人 × 1日 = 延べ 47人

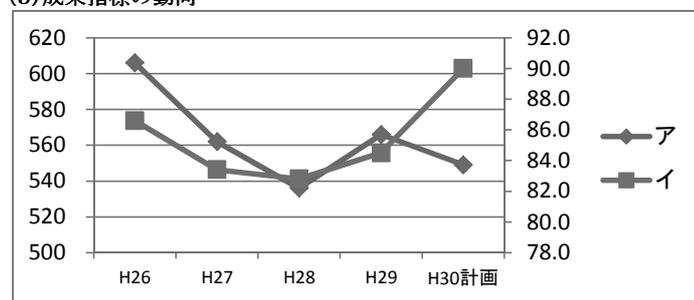
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	29年度実績(29年度に行った主な活動) ・実行委員立ち上げ ・意見発表者選出 ・思い出のスライド、掲示物作成 ・式典準備、当日運営		ア 新成人の意見発表者応募人数	人	0	0	1	0	5
			イ 新成人の意見発表人数	人	5	5	6	5	5
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	対象 当該年度中に成人となる市内在住又は出身の新成人 意図 参加者が大人となったことを自覚して社会的責任を意識付ける。 対象意図		ア 新成人参加人数	人	606	562	536	566	549
			イ 新成人参加率	%	86.6	83.4	82.8	84.5	90.0

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果			② コスト削減優先度評価結果		
施策貢献度	大きい	②	評価結果	①	
	普通			②	(2)
	小さい			③	
			④⑤		
			⑥		
			⑦⑧		
			⑨		

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 停滞 <input type="checkbox"/> 実施困難	
【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)		
② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ
【コメント】 (低下の場合、その理由)	成果指標のタイプ	数値増=成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下
	比較	25年度 26年度 27年度 28年度 29年度 26年度 27年度 28年度 29年度 30計画
	成果動向	ア 28 Δ44 Δ26 30 Δ17 イ Δ4.0 Δ3.2 Δ0.6 1.7 5.5
③ 今年度取組事項 (30年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容
	平成31年1月	学校や仕事等で実行委員全員がなかなか集まらない状況にあるが、実行委員が積極的に進められる組織づくりを目指す。
	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> その他 ()
	平成30年	5年前に決めた実行委員が大学等の進学などで運営が難しいため、早い時期から実行委員会を立ち上げ、進学等で参加できない人は、地元に残っている人を実行委員に推薦してもらうなどの見直しを図る。また、式典でのアトラクション等については、実行委員の意向を踏まえて変更していく。